

2010年度 聖路加看護学会 理事会報告

第1回

- 日 時：平成21年11月20日〔金〕18：00～20：00
- 場 所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム
- 出席者：理事5名・監事2名・第14回大会長

<審議事項>

1. 2009年度総会議事録は一部（年度の表記違いが）修正され、承認された。
2. 総会にて議決された2010年度事業計画の確認がなされた。
3. 2010年度理事会スケジュール案に関して、昨年度まで総会前日に開催されていた評議員会と理事会を1週間早め、第3回理事会を3月26日へ変更した。
4. 会計年度について、現行の会計年度（10月～9月）では総会までに決算報告することが時間的に厳しいため、8月末にて決算報告をし、その後の出費については、例年使用する範囲の金額は見込み支出として決算し、総会後に精算することとなった。会計は、8月31日締めとすることが決まった。
5. 新入会員の承認：3名の入会が承認された。尚、入会手続き方法に関して、入会承認後の振込みのない会員がいるため、年会費・入会金振込み確認後に会員番号を付与し登録することに変更した（以前は入会承認時に会員番号を付与していた）。
6. 名誉会員制度・候補者について、80歳以上の会員全員を候補者とし、次回理事会にて称号について検討することとなった。
7. 看護実践科学研究助成基金について、担当の中山理事より説明がなされた。
 - ・ 備品の購入は可とする。
 - ・ 1月理事会にて募集要項等決定する。
 - ・ 4月に助成金を渡し、その年度の3月に報告書提出、翌年度の学術大会にて発表、学会誌への投稿を義務付ける。
 - ・ 残金は返金してもらい、会計の雑収入とする。
 - ・ 事情により研究の遂行が不可能となった場合の対応について追記する。

<報告事項>

1. 聖路加看護学会第14回学術大会終了報告がなされた。収入は予算より増額し、支出に関しては運営準備等のための人件費が予算より増額した。支出予備費（118,068円）は次回学術大会に寄付されることとなった。
2. 学会誌編集委員会より、報告事項は特にないと報告があった。
3. ニュースレター委員会より、今月末にニュースレターが完成予定であること、また、日本看護系学会協議会のパンナーを学会HPトップページに設置する旨が報告された。
4. 学術交流委員会より、2009年10月24日に開催された学術交流委員会主催パネルディスカッションの報告があった（参加者約30名）。パネリストによるプレゼンテーション形式で行われ、充実した交流集会であったこと、臨床と高度看護実践能力についての関心の高さが伺えたこと、大学院生・修士を修了した臨床看護師が多かった印象を受けたとの報告がなされた。

学術交流委員会は、10月に学術交流会主催講演会（今年度は終了）、その後は看護実践科学研究助成基金事業活動を行う予定である。
5. 庶務より、山田理事長が看護系学会等社会保険連合（以下看保連）の副代表（会計担当）となった旨が報告された。また、看保連へ、正常出産の管理にかかる費用を助産師に

支払える制度が必要との要望が理事から出された。

6. 会計からは特に報告はないとのことであった。

第2回

- 日 時：平成22年1月8日〔金〕18：00～20：00
- 場 所：聖路加看護大学2号館 4階ミーティングルーム
- 出席者：理事6名・監事1名・第15回大会長

<審議事項>

1. 2010年度聖路加看護学会第1回理事会議事録は一部修正され承認された。
2. 看護実践科学研究助成基金について検討された。
 - ・ 募集期限の変更：開始を一週間遅らせてはどうかとの意見が出された（地域によっては、募集開始後にハガキが届く可能性があるため）。締切は理事会日程を加味し、当初より早めることとした。
 - ・ 応募書類の郵送先：聖路加看護学会学術交流委員会
 - ・ 問い合わせ先：学術交流委員会のメールアドレス
 - ・ お知らせのハガキに、助成金額等の内容を入れる
3. 名誉会員制度について、推薦された候補者は承認され、称号証については次回理事会にて引き続き検討することとなった。
4. 学術誌関連調査依頼に関して、下記2点については学会誌編集委員会に回答を一任することで同意された。理事会としては、引き続き（10年後も）現状どおり学会誌の発行を行っていく意向を確認した。
 - ・ 学会誌に関するアンケート調査について【日本学術会議】
 - ・ 著作権ポリシーの掲載について【筑波大学附属図書館：平成20-21年度国立情報研究所CSI委託事業のプロジェクト】

<報告事項>

1. 第15回聖路加看護学会学術大会について、報告がなされた。ランチョンセミナーおよび専門看護師・認定看護師による交流集会と自由集会については学術大会に一任すること、聖路加国際病院・聖路加サービスセンターを「後援」としてポスターに掲載する（本学術大会では初の試みである）旨が報告された。
2. 学会誌編集委員会より、資料に基づき報告があった。
3. ニュースレター委員会より、ニュースレター26号の発送が済み（26号PDFをHPへ掲載予定）、27号（3月発行分）の編集が順調に進行中との報告がなされた。
4. 学術交流委員会より、報告事項は特にないと報告された。
5. 庶務より、2010年度聖路加看護学会活動計画に研究助成金のスケジュールを追加し、活動計画表の名称変更（庶務活動計画→聖路加看護学会活動計画）を行った旨が報告された。また、名誉会員の項が追加された会則をHPに掲載予定と報告された。

看保連担当の山田理事長より、「昨年度開始した研究助成に今年度も奮って応募いただきたい。会員数48学会と増加している」との報告がなされた。また、本理事会においても、随時、看護が担える診療報酬・介護報酬について検討していくこととなった。

6. 会計より、報告事項は特にないと報告された。

第3回

- 日 時：平成22年3月26日〔金〕18：00～20：00
- 場 所：聖路加看護大学2号館 4階講義室

●出席者：理事5名・監事1名・第15回大会長

＜審議事項＞

1. 2010年度聖路加看護学会第2回理事会議事録は、表現と脱字が一部修正され、承認された。
2. 新入会員の承認：6名の入会が承認された。
3. 名誉会員制度に関して、名誉会員に名誉会員証（名刺サイズでラミネート加工）と記念品を贈呈し、次回の学術大会はご招待とすること（参加費の免除）が決定した。記念品に関しては、引き続き検討することとなった。

＜報告事項＞

1. 第15回聖路加看護学会学術大会より、特別講演、総会時間、予算案、昼食についての説明がなされた。また、理事全員にポスターファイルが送付されることとなった。
2. 学会誌編集委員会より、学会誌刊行状況と投稿規程の一部修正について報告があった。
3. ニュースレター委員会より、ニュースレター27号発送済との報告がなされた。
4. 学術交流委員会より、以下の報告がなされた。
 - ・聖路加看護学会看護実践科学研究助成基金：採択数7件（応募数16件）。選考委員会による選考結果を学術交流委員会にて審議し採択した。多くの研究への配布を原則に、7件すべてに減額し助成することとした（15万円×6件、10万円×1件）。採択通知は理事長名にて送付し、採択者には期日までに理事長宛誓約書及び助成金の振込口座を提出願うこと、助成金は会計担当理事から振り込まれ、振込料金は学術交流委員会予算にてまかなうことが決定した。来年度以降は、50～60万円（3～4件）の予算でも継続することが望ましいという意向が示された。その他、申請書に、他の助成金給付の有無についての記載欄を設けることが決まった。
 - ・学術交流会について、大学院生が興味を持ちそうなテーマ「研究と実践をつなぐ」であるため、聖路加看護大学白楊祭との同時開催（10月30日午後）とし、聖路加看護大学2号館4階講義室を会場とすることが決定した。
5. 庶務より、看保連へ2010年度の聖路加看護学会および学会内看保連委員（山田雅子理事長・佐藤エキ子会員）の登録を行った旨が報告された。
6. 会計より、2010年度学会誌定期購読団体へ請求書等の作成と送付を行ったこと、また、会費納入率35.2%（198/563）である旨が報告された。

第4回

- 日 時：平成22年6月18日〔金〕18：17～20：00
- 場 所：聖路加看護大学2号館 5階ミーティングルーム
- 出席者：理事7名・監事2名・第15回大会長

＜審議事項＞

1. 2010年度聖路加看護学会第3回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認：29名の入会が承認された。
3. 名誉会員について、候補者へ書面にて内諾を得ることとなった。また、記念品についての案が出され、引き続き検討することとなった。
4. 自動退会予定者36名について、名誉会員候補者1名および理事より個別連絡することとなった8名を除き、27名に資格喪失予告通知を送付することとなった。
5. 看保連から学会の総意として「平成24年度診療報酬・介護報酬改定に向けた意向調査」の回答依頼があった旨、山田理事長より説明された。学会の総意を得るための方法として以下の方法が提案されたが、回答期限が近いため、今回は理事長が回答することで同意された。
 - ・会員の総意を得る方法に関しての提案：評議員・理事にアンケートを送付し、意見を募る、学会HPにて会員の

意見を募る（但し、会員専用のHPはなく、会員以外も書き込みが可能）

また、次年度の活動案が次回の理事会にて提出されとのことであった。

6. 第17回聖路加看護学会学術大会大会長の推薦について討議の結果、山田雅子理事長が推薦され、本人の承諾が得られた。
7. 看護実践科学研究助成基金の助成金振り込み方法について、今年度会計にて行った各申請者への助成金振り込みを、来年度は学術交流委員会にておこなうことで合意された。
8. 学会誌残部（各号0～110部、聖路加看護大学2号館地下倉庫にて保管中）の保管スペース減少に伴い、残部の取り扱いについて検討された。検討の結果、各号50部を保管し、51部を超える分は第15回学術大会にて無料配布することとなった。
9. EBSCO Publishing から依頼許諾があったが、本学会への詳細な利点が不明なため、今回は見送ることが決定された。「EBSCOは便利な検索サイトであるが、教育機関の使用料金が2000～3000万円程度と高額である」との情報提供があった。
10. 科学技術振興機構からの「著者抄録の利用許諾のお願い」について検討し、聖路加看護大学紀要に準じて「有料許諾」することとなった。

＜報告事項＞

1. 第15回聖路加看護学会学術大会より、広報活動、申込状況、会場設営等について、佐藤大会長より報告があり、また、今後の予定が示された。
 - 名誉会員を学術大会にご招待いただきたい旨、山田理事長より依頼があり、承諾された。
2. 学会誌編集委員会より、学会誌14巻2号を2010年9月発行にむけ準備中であり、ライフサポート社委託にて円滑に進行しているとの報告がなされた。
3. ニュースレター委員会より、来年度予算より、送料もニュースレター予算とする旨の報告がなされた（現行では、印刷費用はニュースレター予算、送料は庶務予算）。
4. 学術交流委員会より報告があり、以下のことが確認された。
 - ・看護実践科学研究助成基金の会計監査は、会計理事（菊地監事・近藤監事）がおこなう。
 - ・2011年度学術交流会（2010年10月30日）の案内を学会誌へ同封し、学会員に告知する。
 - ・2012年度企画として、2011年9月に学術交流会実施の案が出されたが、学術大会（総会）と同日に交流会を実施すると、会計処理が間に合わず、また、2012年度の企画を2011年度に実施することとなるため（会期：10月～9月）、委員会にて再検討することとなった。
5. 庶務より、独立行政法人日本学術振興会および文部科学省研究振興局より計4賞の受賞候補推薦依頼を受け、理事・監事・評議員へ候補者推薦依頼を行ったが、いずれも推薦者0名であったこと、2010年6月より、入会のしおりに「聖路加看護学会員は聖路加看護大学図書館を利用できます」というご案内を添付することが報告された。
6. 会計より、会費納入率60%であること、個別に納入状況を告知し会費納入促進を諮っていること、今年度の助成金振込手数料は学術交流委員会予算ではなく会計予算から支出すること（振込用紙に振り込み手数料が記載されており、別枠処理が困難なため）が報告された。

第5回

- 日 時：平成22年9月10日〔金〕18：00～21：00
- 場 所：聖路加看護大学2号館 4階講義室

●出席者：理事5名・監事1名・第15回大会長

<審議事項>

1. 2010年度聖路加看護学会第4回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認：19名の入会が承認された。
3. 退会者の承認：退会者23名・自動退会（会員資格喪失）者21名の退会が承認された。
4. 2010年度予算執行について資料をもとに大久保理事より説明がなされ、次回理事会までに会計監査を終了する旨が確認された。
5. 2011年度事業計画案について、下記の事業を追加することとなった。
 - ・会計年度および役員任期の変更【現行「10月～翌年9月」→「4月～翌年3月」】の提案
[提案理由]・現行会期であると、一般的な会期と異なり会計事務作業が煩雑になる
・総会前後の活動時に予算執行が不可能
 - ・高度実践看護開発検討委員会の発足
なお、当該年度会費未納者への学会誌の未送付是非について、今後検討することとなった。
[理由] 会費未納付者への個別対応による事務作業の煩雑化（今年度会費未納付者約200名）
6. 2011年度予算案について検討した。
 - ・来年度の選挙用活動費用（特別会計）の確認を行った。
 - ・研究助成基金は応募数も多いため、継続のために予算を確保する。
7. 総会進行について、資料をもとに役割分担を決定した。

<報告事項>

1. 第15回聖路加看護学会学術大会より、参加者数、プログラム及び講演集、会場設営等について報告がなされた。
2. 学会誌編集委員会より、学会誌刊行状況および投稿規程一部修正の報告があり、それに対し以下の提案があった。
 - ・二箇所目の変更「11(2)」は紛らわしい部分があるので、との指摘があった。（「正本1部のみ記名とする。副本2部（原著の場合：3部）については、著者名、

……。」とすればどうか。）

- ・「受け取った原稿は採否に関わらず返却しません。」の文言の追加。
3. ニュースレター委員会の総会資料確認を行った。
 4. 学術交流委員会より総会資料をもとに報告がなされ、一部修正し総会資料とすることとなった。
 5. 庶務より、資料をもとに報告がなされた。また、「看保連」関連活動の充実および活動の会員還元のため、来年度の「高度実践看護開発検討委員会」発足を、総会に諮ることとなった。

第6回

●日 時：平成22年9月17日〔金〕16：35～17：35

●場 所：聖路加看護大学2号館 4階講義室

●出席者：理事8名・監事2名・第15回大会長

<審議事項>

1. 2010年度聖路加看護学会第5回理事会議事録は承認された。
2. 新入会員の承認：1名の入会が承認された。
3. 2011年度予算案について大久保理事より資料をもとに説明があり、一部修正のうえ承認された。
4. 総会プログラムと進行表について確認し、役割分担について一部検討のうえ決定した。
5. 2011年度第1回理事会を2010年11月18日（木）18：00～に決定した。
6. その他、会計年度・役員任期の変更に関して検討中である旨を総会にて報告すること、また、会計業務の強化に関して担当理事の増員を検討していくことが話し合われた。

<報告事項>

1. 2010年度決算報告について、資料をもとに大久保理事より説明があった。
2. 菊地監事より、監査が終了した旨報告があった。
3. 各委員会担当理事より、総会資料修正点の確認がなされた。

以上